

2011 年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	松田 美佐		
NAME	Misa MATSUDA		

1. 研究課題

(和文) 多機能化するモバイル・メディアとパーソナル・ネットワーク研究

(英文) Study on the personal networks connected with the multi-functionalized mobile media

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

(和文)

1990年代後半、日本社会に急速に普及した携帯電話は、2000年代にはいっそう利用が広まると同時に、多機能化することで、それぞれの利用者が自らの日常生活の中で多様に利用するようになった。このため、同じ携帯電話であっても、具体的な利用方法は個人により大きく異なっており、具体的な利用状況の把握なしには、携帯電話が日常生活や社会に与える影響は把握しがたいものとなっている。このような状況を踏まえ、特に、それぞれの個人がもつパーソナル・ネットワークとの関係で携帯電話を中心とするモバイル・メディアの利用状況を把握することで、モバイル・メディアの社会的インパクトを捉えることを本研究は目的としている。

そのため、スマートフォンの普及、および SNS やツイッターの展開を中心としたメディア変容をとらえることを目的とした文献研究を行う一方で、インタビューによって、個人のパーソナル・ネットワークを踏まえたモバイル・メディア利用状況を調査した。加えて、2000年代のモバイル・メディアをめぐる状況を論じた編著書の執筆・編集をおこなった。一方で、2011年3月11日に発生した東日本大震災を受け、災害と情報の観点からの研究も進めた。

調査結果からは、従来の知見同様、基本的にモバイル・メディアは親しい関係性において活用されていることが再確認される一方、モバイル・メディアをパーソナル・ネットワークの維持管理に戦略的に活用する様子も見いだすことができた。

(英文)

To consider the social impact of the mobile media, I investigated the usage of the mobile media (cellular phones) with the personal networks of the users.

The results show that mobile media are useful especially on the maintenance of the close relationships and the people use the mobile media strategically to maintain and control their personal networks.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p> <p>・第28回情報通信学会大会、コメンテーター、「日本人の情報行動、この15年の変化」</p> <p>2011年7月3日、東京／専修大学</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p> <p>岡田朋之・松田美佐編『ケータイ社会論』有斐閣, 2012年</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p> <p>「災害が継続する中でのうわさ・風評被害（上）」『CHUO ONLINE』2011年5月19日</p> <p>「災害が継続する中でのうわさ・風評被害（下）」『CHUO ONLINE』2011年6月16日</p> <p>「継続する災害下での日常生活ー風評被害・うわさを考えるー」『人権問題講演会』2011年7月12日</p> <p>「噂のメカニズム」 『怪』34号 2011年11月, pp.144-148.</p> <p>-----</p>